



かさ

楓

かえ下

お盆号

## 念仏は力なり

人は何処から来て、何処に去っていくのか。誰でも自問したことがあるし、一度ならず突き当たる壁であります。

この大問題を追及したのが、日本十三宗と言われる各宗派の祖師の方であり、我が時宗の開祖一遍上人もお一人であります。

一遍上人は『捨て聖』とも呼ばれますが、それは肉体と心の対立に終始する自分の醜さに気づいて悟りへの差しさわりと考えられるすべてのことを捨て去られたからといわれております。御上人様は、家を捨て、恩愛を捨て、生きていく上で必要以外の衣食も捨て、捨てようとする心までも捨て切り、まことにすさまじい徹底ぶりとしか言い様のない生活を送られました。

そのようにして、零の人間に立ち返って、ほのかに見えてきたのが、天地一切に助けられている自身の姿でありました。一遍上人が、生涯を通じてその行動と考えを

貫かれたのは、念仏―ナムアミダブツ―と称える教えとのふれあいであったという訳であります。

## 本当の自分に目覚める

これほどまでに人を変える可能性のある念仏―ナムアミダブツ―は何を意味し、我々に何を示そうとするのでしょうか。

『ナム』とは無限の命。『ブツ』とは無限の命の存在を悟られた方を指します。

すなわち、『ナムアミダブツ』と称えることは、『無限の命そのものである阿弥陀さまの教えに命がけでおまかせします』ということでありま

す。とかく、私共は呼吸の出入り、血液の循環、食べ物の消化吸収など生きて行く上で一番大切なことを当たり前と考え、そのありがたきを忘れたがちであります。申すまでもなく、その働きは、太陽があり、大地があり、水や空気があることによってもたらされます。私たちは、この目に見えない働きの中に父母によって命を与えられたのであります。

このように受け止めれば、私共は仏から生まれて仏に帰るとも言えるし、我が生のすべてが仏の体内の出来事とも受け止められます。

一遍上人が「生きとし生けるもの、吹く風、たつ波の音まで念仏ならずということなし」と

申されるのはこのことでもあります。

我が生命は、阿弥陀仏の体内の生であり、仏そのものから分け与えられたものであると悟れば、生きて行く力が湧き、歓び生まれる。念仏は力なりといわれる所以であります。

(慈光寺住職 剋行 九拜)

## ※慈光寺からの連絡

来年、本山より御上人様がおいでになります。

一遍上人が全国を旅して念仏をすすめられた

遊行と同じように、御上人様が全国各地の時宗

寺院を巡る法要を『御親教』と申しますが、そ

の御親教が来年は岩手で行われ、左記の期間に

わたってわが慈光寺にもおいでになる事と決定

しました。詳細はおってご連絡しますが、是非

御上人様より念仏札を頂く機会になれば幸いです。

す。

御親教 滞在期間

平成二十年五月二十三日

二十四日(金)

# 檀家旅行記

去年の十一月九日から十日にかけて県南由緒寺院巡りをテーマに檀家旅行を執り行いました。

旅行でお参りした主な寺院は、正法寺、黒石寺、伯濟寺（いずれも水沢）、毛越寺、中尊寺（いずれも平泉）です。

天候にも恵まれ、行く先々で常に笑顔が絶えない非常に楽しい旅行でした。私事ながら、仕事で全国を飛び回る事があっても、こうしてゆっくり観光する事がないので、特に毛越寺の庭園はまた菖蒲の時期にまた観光したいと思いました。

檀家旅行は、和尚と檀家の皆様と触れ合う非常に良い機会です。また、ご参加して下された方々のお人柄を知る上でも和尚にとってためになる有難い勉強の場とも思っております。

仏教用語に『一蓮托生』いちれんたくしょうという言葉がございます。

この言葉の意味は、「将来、極楽浄土に往生した時には、一緒の蓮の花の上に生まれ変わりますよ」というかけがえのない家族や友人へ対する愛情が込められている言葉です。

毛越寺の庭園を眺めながら、「極楽がこんなに素敵な場所なら俺も行っていいなあ…」と漏らしてしまいましたが、こんなに楽しい檀家の皆さんと極楽往生したいものだとひそかに考えていた素敵な檀家旅行でした。

今年も函館への旅行を企画しております。

檀家の皆様、ふるってご参加下さい。

(副住職 大悟)



## お盆中のおねがい

**ゴミは必ず持ち帰りましょう。**

現在焼却炉は久慈市の条例により使用不可能です。燃えるゴミであっても必ず持ち帰り皆様各家で処分されるようお願いいたします。

ご先祖様が里帰りなさる慈光寺の景観を汚す事のないように重ねてお願いいたします。

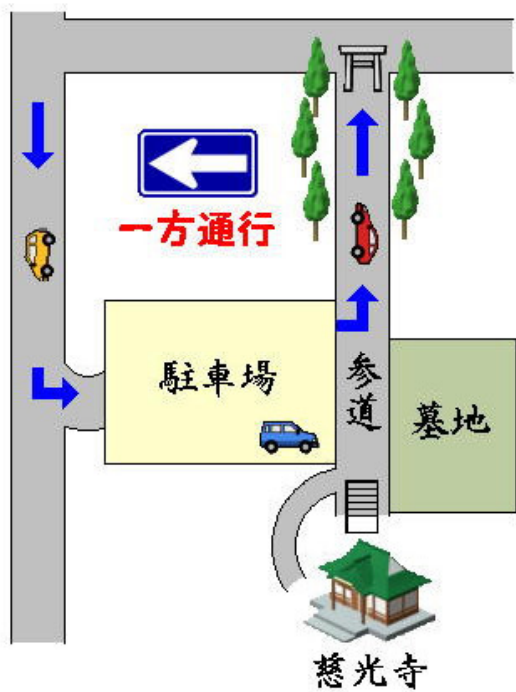


**車でおいでの方は決まった道順で走ってください。**

お盆中は大変駐車場が混雑します。

お盆中は杉並木の参道を開放いたしますので、おいでになる方は左の図のように、これまでどおり脇の道を通って駐車し、お帰り際には参道側から帰られるように一方通行の形を取りたいと思いますのでよろしくお願いたします。

なにぶん狭い駐車場で皆様には大変ご不便をかけますが何卒ご協力の程をよろしくお願いたします。



## お焚き上げ

古くなった角塔婆や板塔婆、仏壇やお盆用品などはお盆を迎える前に処分しましょう。部屋同様にお墓もきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。

慈光寺では毎年左記によりお焚き上げを厳修しております。

お焚き上げを希望する方は指定の場所に前日までに持ってきておいて下さい。それ以後は来年まで一切受付しませんのでご注意ください。

日にち **八月十三日**

場所 **慈光寺新墓地脇 立て札前**

## 寄付紹介

亡き父の菩提を弔う追善供養のお気持ちで、新町部落の米内 清見さんが墓参用手桶置き台をご寄進して下さいました。山門脇のお水場のそばに設置して頂きましたので、お檀家の皆様がより便利にお墓参りが出来る様になりました。

当山の景観も皆様からのご寄進により年々立派になっております。この場を借りて感謝申し上げます。

